

家庭系収集ごみ有料化に向けた地域意見交換会 (八幡コミュニティ) 意見の概要

日 時 平成27年9月5日(土) 18時から19時まで

場 所 八幡区薬師会館

出席者 地域の方：14名

事務局：6名(環境経済部長、ごみ対策課長、同副課長、ごみ対策課担当者2名、
リサイクルプラザ担当者1名)

家庭系収集ごみ有料化検討会議副会長

資料に基づき事務局説明

- (1) 「知多市家庭系収集ごみ有料化基本計画」について
- (2) 意見交換事項
 - ア 手数料の設定について
 - イ 効果的な施策について

<質疑、意見>

《ごみ排出量と資源回収量の現状について》

【意見等】 ごみ排出量が減ってきている理由は何ですか。

【事務局】 ごみの排出量は、景気等にも左右され、物が購入されれば、ごみも出ますので、その辺が少し影響していると思います。

【意見等】 ごみは増える一方の中で、資源に出してもらうことで、ごみは何%か減るというようにしか考えられません。有料化でごみが減るという理屈が分かりません。

【意見等】 ごみを100とすると、資源は何パーセントで計算していますか。

【事務局】 平成26年度のごみ排出量は1人1日当たり623gですが、資源回収量の3,120tは、1人1日当たりに換算すると約100gになります。1人1日当たりのごみを100g減量しないと県平均にならないということは現在の倍量の資源を出さない達成できないという感覚です。ただし、紙類は

すぐに貯まるので、これを資源に出してもらえれば、1人1日当たり60～80g程度にはなると思います。

ごみの内容物調査の写真を見ると、紙類も結構ごみ袋に入っています。雑紙の資源回収を、よく説明してこなかったという反省点もありますので、これを機に具体的に示して取り組んでいきたいとします。

《有料化導入の効果について》

【意見等】 有料化をごみ減量のための1つの方法として考えているようですが、指定ごみ袋が高くなることで、指定ごみ袋に入れなくて、他の袋に入れて出す人が増える心配があります。

資源化を進めることは、確かにごみ減量の1つの方法で、方法をきちんと考えるべきだと思いますが、指定ごみ袋を高くする方法で、ごみそのものが減量するのか、有料化導入済の他自治体のごみ減量効果を教えてください。

【事務局】 有料化導入の自治体は必ずごみ減量しています。導入年度と前年度を比較すると、30%程度減量しているのが一般的です。リバウンドもほとんど生じることなく、20%～30%程度のごみ減量で落ち着くようです。

【意見等】 有料化は良いと思います。有料化すると30%はごみが減るとの説明でしたが、そのごみは資源に回って、資源が増えるという意味ですか。

【事務局】 そういうことにはなりますが、ごみと資源のトータルも減らしたいと考えています。そのためには、生ごみは水切りをして乾燥させて出すということなどが必要になります。そうしないと、ごみが資源に移行するだけで、不要物として排出される廃棄物のトータル量は変わりません。

《生ごみの減量について》

【意見等】 ごみの中に生ごみが多いと思います。生ごみこそ、各家庭で処理できるような方向に持っていけば、処理する側も楽になると思います。各家庭で処理できるように、市で補助金を出すことも減量の一つの方法だと思います。

【事務局】 過去に、生ごみを堆肥化するコンポスト、電気式生ごみ処理機の購入補助をやり、申請が減ったため止めたという経緯があります。補助制度を持続し

ている自治体もありますが、知多市は、補助金は一定の成果を上げたら見直すため、現在では生ごみ処理に対する補助制度はありません。

生ごみ減量の機器購入費補助が良いか、安く買えるような案内をする方が良いかも、合わせて考えていかなければいけないと思います。

九州のあるJAでは、ダンボール製の生ごみ処理器を1,000円程度で紹介している情報があり、そうした物を案内することは可能だと思います。

《ごみ排出者のマナー、モラルについて》

【意見等】 ごみ収集場所を見ると、地域の住民はきちんと分別をして指定ごみ袋に入れて出す人がほとんどだと思います。調査していないので分かりませんが、地域以外の人、遠方の人が通勤途中で車に乗って来て置いていくごみの中に分別されていない物が多いような気がします。

【事務局】 ごみ収集場所の使い方のモラル、マナーが非常に悪く問題となり、ごみ収集場所を止めてしまった自治体もあります。知多市では、道路が狭い地域もあるため、交通量の多い通りなどに設置せざるを得ない収集場所では、通りすがりの者がごみを出すという話がどこの地区でもあり、問題のある収集場所については、早朝からの監視等も必要ではないか思います。

現在でも、不正ごみの連絡があれば中身を開け、排出者が分れば指導していますが、特定できる物が無いケースが多いです。

【意見等】 近くにコンビニができ、空き地に停車したトラックが弁当ガラをコンビニのごみ箱まで持って行かず、その場に捨ててしまいます。家が建っていれば捨てないでしょうが、建っていないから、そこにたくさんのごみが捨てられています。コンビニの人にも指摘するのですが、そんなに何回も掃除をする訳ではないので、いつもごみが多く散らかっています。

《市外からの越境ごみについて》

【意見等】 東海市境の近くでは東海市民が知多市指定ごみ袋を購入し知多市の収集場に出すという現状もあります。知多市の方が分別が少なく便利であるし、東海市は指定ごみ袋1枚が高い、何枚かしかもらえないという理由で、知多

市の方に持ってくる人をかなり多く見えています。

《不法投棄の防止について》

【意見等】 現在でも川にごみを捨てる人がいるのですが、有料化で指定ごみ袋が高くなることで、もっと川にごみを捨てる人が多くなると思います。有料化導入でごみが減ると説明していますが、川が汚れるのではないかと思います。

《簡易包装について》

【意見等】 日本は包装が2重3重で丁寧過ぎると思います。外国では商品を裸で売っていますが、そういう方法にはなりませんか。

【事務局】 自治体だけでは、なかなか難しいと思います。国をあげてリデュースということを進めていかなければならないと思います。

《手数料額について》

【意見等】 指定ごみ袋1枚が、例えば45円に決まると、量販店等で購入する場合には45円で購入することになるのですか。

【事務局】 今後、消費税率が10%になる予定の中で、指定ごみ袋は10枚単位で販売していますので、10枚当たり450円プラス消費税で490円程度になり、指定ごみ袋1枚当たりは50円弱ぐらいになると思います。

手数料化を導入し、指定ごみ袋が1枚50円になると仮定すると、手数料額の50円に対して、販売店に支払う手数料徴収業務の委託料や袋代を含めて1枚15円程度の必要経費が掛かると想定しており、差し引き35円が市の実の歳入になります。

また、現在は自由販売のため、販売店による販売額の差がありますが、有料化に伴い指定ごみ袋が金券のような扱いになり、手数料額の固定の販売額となり、販売店による違いはなくなります。

【意見等】 指定ごみ袋の販売店は、知多市内限定ですか。

【事務局】 基本的に知多市内の店での販売になりますが、市民の買物の利便性を考えた場合に、市境の周辺部では、市外であっても近隣のスーパーマーケット等

で知多市の指定ごみ袋を販売する必要があると考えます。

【意見等】 東海市で無料の分を超して、購入する場合の指定ごみ袋はいくらですか。

【事務局】 知多市で現在は1枚10円程度で購入できる袋が、東海市では無料配布分を超えた場合に購入すると1枚110円掛かります。

【意見等】 東海市は最初の10枚や20枚は無料配布しているので、ごみ処理施設を共同で利用するのなら、有料化制度等も一緒にやるべきではないのですか。

【事務局】 同様の意見は、今までの意見交換会の中でも何度かありました。東海市と共同のごみ処理施設を利用することになるのは約8年後ですので、東海市もそれまでの間に考えがどうなるか分かりませんが、「同じ施設を利用するのに、有料化制度が違うのはどういうことか」という市民感情も踏まえて、今後の調整は必要だと考えます。

また、ごみ処理施設の共同利用の場合に、施設管理運営に係る負担金は、構成市の搬入ごみ量による負担率が一般的ですので、今からでもごみ減量の取組が必要であるということも有料化導入の1つの理由です。

【意見等】 有料化に対して、指定ごみ袋が1枚100円になろうが、極端な話500円になろうが構わないと思いますが、その代わりに、もう少し市民が資源を出しやすい環境、場所を作ってもらいたいと思います。そうしないと、資源回収量も上がってこないし、ごみとして捨てやすい川、田んぼ、山に捨てる人、資源回収日に出さないで、ごみの日に分別せずに資源も出す人が増えてくるだけです。

《常設の資源回収場所について》

【意見等】 現在は、月1回しか資源回収がありませんが、そんなに保管しておけません。そのために、面倒くさいこともあり、紙類を可燃物に出してしまうということもあると思います。指定ごみ袋の値上げと同時に1つでも2つでも、来年度でも、とにかく何か方策を実施するという話をしてもらった方が、これも1つの解決策なのではないかと思います。

【意見等】 市役所の前でリサイクルステーションをやれば良いと思います。そうすれば、市役所なら皆が来るからきれいにしたいと思いますし、職員もそういう意

識になると思います。

【意見等】 リサイクルプラザや清掃センターまで行くことは市民にすごく負担であるとともに、搬入受付時間が短いため、資源を出したいときに出せません。例えば、新聞紙、古紙、ダンボール、アルミ缶、スチール缶などの主なものだけでも、もう少し回収率を上げるような工夫をした方がいいと思います。

リサイクルプラザや清掃センターへの持ち込みと月1回の地域の資源回収だけでは追いつかないのが現状で、私設のリサイクルステーションにかなりの量が土日曜日には置いてありますので、日曜日や土曜日でも資源を出せる施設があればいいと思います。自動車で資源を持って来やすいということも考慮してください。

ごみを資源化し、リサイクル率を上げるためには、よく見かける私設のリサイクルステーションのような常設の資源回収場所を市役所等の利便の良いところに設置することが効果的で、回収もまとめてできると思います。

例えば、南部の方でどこか1か所にリサイクルステーションを作り、日常的に資源を出すことができるような形で、もう少し市民感覚でいくことが、今の時代にあっている気もします。なるべく早くお願いいたします。

【事務局】 同様の意見は検討会議でも出ていますので、公民館などに常設の資源置場を設置していきたいと考えています。

今までは全市同じ資源回収方法でしたが、地域性も考慮し、地域の提案等を取り入れた方法も採用していこうと思います。

また、リサイクルステーションを地域で管理運営すれば地域にお金が入るので、地区施設や土地を利用可能な場合は検討されても良いと考えます。

【意見等】 私設のリサイクルステーションを設置しているところがありますが、それは儲かるのでしょうか。

【事務局】 無償で土地を貸している訳ではないと思います。東海市には、地区で運営しているリサイクルステーションがあります。

【意見等】 市で土地を借りて資源が出せるようになれば良いと思います。

【意見等】 リサイクルステーションの設置等について具体的な進展はありますか。

【事務局】 地区の常設のリサイクルステーションの適地として、公民館等を始め市有

地等で可能性のある設置案を担当者では考えていますが、地域から要望があるということで、今後、各所管課との調整が必要だと考えています。

また、地域で常設のリサイクルステーション等の運営が可能であれば、それを市民に紹介し、利用を促す案内もやっていければ良いと思います。

【事務局】 他の地域で、地元から1つ常設のリサイクルステーション設置の提案があり、今後、相談していきます。

《子どもへの環境教育について》

【意見等】 これからのことを考えると、小学生や中学生たちに、教育の場でモラルとして「こういうものはごみではなく、資源として集める」と言っていけば、その子たちが大人になったときにはごみと資源の分別に繋がっていくと思います。大人に言っても、つつい面倒くさいので、最初はやっていても、やらない人はやらない、やる人はちゃんとやるけれども、やらない人は絶対にやらないので、学校でもそういう教育を出張してやって欲しいと思います。

《市民への周知について》

【意見等】 有料化制度の周知に当たって「市民の方の理解」が不可欠とありますが、その周知徹底はどういう方法を考えていますか。

【事務局】 平成28年度に市民説明会、市民周知を実施します。

【意見等】 アパート等には外国人の方が多く住んでいて、不燃物収集日に冷蔵庫を出す人、指定ごみ袋に入れずにレジ袋でごみを出す人がいます。外国人の方などの広報を見ていない人に、いかにして周知していくかを考え、徹底しないと有料化を実施してもルールが全然守られないと思います。

【事務局】 ごみの出し方についての外国語の説明文を、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の4か国語で作成しており、有料化に向けても同様に対応していく必要があると考えています。外国人の方が組織化されている団体等も通じて、粘り強く周知していくしかないと考えています。

また、他自治体の例で「紙を資源として出してもらえれば、ごみはずいぶん減ります」というチラシをアパート等に各扉ポスティングしたところ、雑

紙が資源として多く出されるようになったと聞いていますので、外国人に限らず、アパート等は個別に案内することも必要だと思っています。

【意見等】 高齢者の転入の際に、知多市の指定ごみ袋に入れて、何曜日に出すというルールを、市で転入者によく説明してもらわないと周知されません。

【事務局】 今回、これを機会として全市的に周知に取組みます。

【検討会議副会長】 去年、検討委員ということで、男性5名の方と、女性5名の方、計10名で、大学の先生にも入っていただいて、皆さんと同じように色々な意見を市の方に意見をぶつけて、質問などしてきました。皆さんの考えとおり私たちも言ってきました。

女性の委員からは、ごみ袋の値上げは家計に直結するので嫌だという意見が大半でしたが、最終的になぜ有料化に取り組むのかというと、私たちの子どもや孫がこれからも知多市にずっと住み続けられる環境を作っていくために、ごみの減量をやっていかなければいけないという意識をこれから作っていかないといけないからだということでした。

皆さんからご意見いただいておりましたけれども、行政の方には施設の設置などのハード面を整えていただきたいと思いますが、私たち住民が、住民同士でモラルを作っていくような地域にしていこうという意識を、皆で声を上げていかないと、多分直っていかないとします。小学校4年生のときに清掃センターに勉強に行くけれども、忘れてしまいます。中学生、高校生になってもそういうごみや環境に関する勉強の機会を作って、しっかり後世につないでいくような取り組みをしてほしいので、学校教育関係の方と清掃センターの方と連携して欲しいというような意見を出させていただきました。

是非、皆さんと一緒にごみの減量化に向けて進めていきたいと思っています。